

平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 レカム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3323 URL http://www.recomm.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊藤 秀博
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長CFO (氏名)砥綿 正博 (TEL)03(5357)1411
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	3,677	17.7	138	—	133	—	88	—
28年9月期第3四半期	3,124	23.0	△22	—	△17	—	△28	—

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 120百万円 (-%) 28年9月期第3四半期 △50百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
29年9月期第3四半期	円 銭 1.52	円 銭 1.51
28年9月期第3四半期	△0.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
29年9月期第3四半期	百万円 2,817	百万円 1,677	% 55.4
28年9月期	2,602	1,510	54.6

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 1,561百万円 28年9月期 1,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.00	円 銭 1.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,650	27.8	300	141.5	300	206.9	190	250.5	3.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名)レカムジャパン株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期3Q	60,081,900株	28年9月期	57,679,100株
29年9月期3Q	13,000株	28年9月期	13,000株
29年9月期3Q	58,067,984株	28年9月期3Q	53,568,316株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府や日銀による財政・金融政策効果により企業収益に改善がみられ、景況感が改善するなど、緩やかな増加基調にあります。当社の属する情報通信業界におきましては、情報通信機器のリース取扱高は4-6月ではほぼ前年並みにまで改善しており、業界全体として若干の明るさが見えつつある状況にあります。

こうした経営環境のなか、当社グループは今期の最重要テーマとして「グループ経営の推進」を掲げ、事業本部制に改組し、権限移譲と意思決定の迅速化に取り組みました。情報通信事業では、約6万件の顧客データベースを活用した顧客との関係性強化に取り組み、ビジネスホンやMFP（デジタル複合機）、セキュリティ商材等の販売を強化しました。BPO※1事業では、新規顧客開拓と顧客からの追加業務の獲得による顧客当たり売上の増加に取り組み、BPOセンターにおいては業務効率化と品質向上に注力してまいりました。また、海外法人事業では、販売エリアを拡充しつつ、LED照明やエコ商材をより一層拡販するために、営業人員の増員を行うなど、積極的な取り組みを行ってまいりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上が前年同四半期と比べ17.7%増の3,677百万円となりました。営業利益は、増収効果及び各事業の収益性向上により利益率が上昇し138百万円（前年同四半期は22百万円の損失）、経常利益は133百万円（前年同四半期は17百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は88百万円（前年同四半期は28百万円の損失）となりました。その結果、各利益指標は上場来最高益となりました。

※1 BPO（Business Process Outsourcing）の略称です。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 情報通信事業

直営店チャンネルにおいては、顧客データシステムのより一層の有効活用を図り、顧客との関係性強化を図ってまいり、商品としては、ビジネスホンの買換え需要の獲得とデジタル複合機で独自の販売プランによる拡販、UTM※2サーバー等のセキュリティ商材の販売を強化しました。また、2016年4月より開始した電力の取次事業は、営業人員を大幅に増員し事業拡大を図りました。この結果、同チャンネルの売上高は前年同四半期と比べ0.2%増の1,268百万円となりました。

加盟店チャンネルにおいては、パートナー統括部において、特にセキュリティ商材の営業同行等の販売支援を強化しました。この結果、同チャンネルの売上高は前年同四半期と比べ8.3%増の1,449百万円となりました。

代理店チャンネルにおいては、採算性重視した代理店の再編成が進みつつあり、代理店に対する販売支援策を打ち出すことで、売上高は前年同四半期と比べ11.6%増の139百万円となりました。

これらの結果、情報通信事業全体（直営店・FC加盟店・グループ会社・代理店の合計）の売上高は、前年同四半期と比べ6.8%増の3,132百万円となりました。営業利益は増収効果及び営業効率の改善が図れたこと等により利益率が改善し、62百万円の利益（前年同四半期は34百万円の損失）となりました。

※2 UTM（Unified Threat Management：統合脅威管理）の略称です。

② BPO事業

BPO事業では、紹介営業やWebでの問い合わせ対応等による新規顧客の獲得に注力するとともに、既存顧客からの追加業務の獲得に取り組んでまいりました。BPOセンターにおいては、大連、長春、上海、ミャンマーの各センターでの管理職へのマネジメントの教育やスタッフへの日本語教育、スキルアップ研修を実施し、業務品質の向上と生産性の向上を図ってまいりました。これらの結果、売上高は前年同四半期と比べ63.8%増の250百万円となり、営業利益は37百万円（前年同四半期は15百万円の利益）となりました。

③ 海外法人事業

海外法人事業は、レカムビジネスソリューションズ（大連）株式会社において2016年4月に上海支店、同年12月に3拠点目となる広州支店を開設し、海外進出する日系企業へのLED照明やエコ商材等の拡販に取り組んでまいりました。また、中国での拠点展開に加えて、ベトナム・ホーチミン市に現地法人を設立することを決議し、同事業をASEAN地域で開始することにいたしました。

これらの結果、売上高は294百万円（前年同期比658.7%増）となり、営業利益は人員増強や支店開設等に伴う先行投資費用を吸収し38百万円（前年同期は1百万円の利益）となりました。

(セグメント別売上高)

セグメントの名称		販売高(千円)
情報通信事業	直営店	1,268,832
	F C加盟店	1,449,184
	グループ会社	274,497
	代理店	139,861
	計	3,132,374
B P O事業		250,481
海外法人事業		294,377
合計		3,677,232

(注) 1. 上記の金額に消費税等は、含まれておりません。

(販売品目別売上高)

セグメントの名称		販売高(千円)
情報通信事業	ビジネスホン	734,390
	デジタル複合機	616,165
	UTM	420,899
	サポート&サービス (注) 3	316,611
	光回線サービス (注) 2	315,251
	サーバ	179,858
	LED (注) 4	117,689
	その他	431,507
	計	3,132,374
B P O事業		250,481
海外法人事業		294,377
合計		3,677,232

(注) 1. 上記の金額に消費税等は、含まれておりません。

2. 光回線のサービス卸の売上です。

3. 情報通信機器のテクニカルサポートサービスです。

4. 高機能LED照明の販売及び設置工事売上です。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末より215百万円増加し、2,817百万円となりました。これは主に第三者割当による新株式及び新株予約権の払込み等により現金及び預金が251百万円、有価証券が82百万円増加し、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が101百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末より48百万円増加し、1,140百万円となりました。これは主に借入金が56百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末より166百万円増加し、1,677百万円となりました。これは主に新株式の発行及び新株予約権の行使による払込等により資本金及び資本剰余金が117百万円増加したことと、親会社株主に帰属する四半期純利益88百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期通期の業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当致しませんが、当第3四半期連結会計期間において、Vietnamrecomm Co., LTD. を設立し、新規連結致しました。

この結果、平成29年6月30日現在の当社グループは当社、子会社12社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	976,486	1,228,304
受取手形及び売掛金	709,667	607,880
有価証券	-	82,665
商品	194,713	198,672
繰延税金資産	21,720	21,755
その他	123,762	109,462
貸倒引当金	△9,691	△9,309
流動資産合計	2,016,659	2,239,431
固定資産		
有形固定資産	45,830	48,822
無形固定資産		
のれん	277,582	253,570
その他	30,861	27,145
無形固定資産合計	308,444	280,716
投資その他の資産		
繰延税金資産	60,001	60,001
その他	183,887	202,471
貸倒引当金	△12,340	△13,621
投資その他の資産合計	231,548	248,851
固定資産合計	585,823	578,390
資産合計	2,602,483	2,817,821
負債の部		
流動負債		
買掛金	429,315	436,413
短期借入金	100,000	201,682
1年内返済予定の長期借入金	72,496	35,904
未払法人税等	28,096	18,790
引当金	12,794	33,323
その他	252,040	227,429
流動負債合計	894,742	953,543
固定負債		
長期借入金	133,563	124,783
負ののれん	592	-
退職給付に係る負債	1,871	2,038
その他	61,121	59,871
固定負債合計	197,148	186,692
負債合計	1,091,891	1,140,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	932,519	1,011,488
資本剰余金	916,452	955,141
利益剰余金	△419,850	△407,109
自己株式	△845	△845
株主資本合計	1,428,275	1,558,675
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△8,435	2,502

その他の包括利益累計額合計	△8,435	2,502
新株予約権	27,355	26,586
非支配株主持分	63,397	89,820
純資産合計	1,510,592	1,677,585
負債純資産合計	2,602,483	2,817,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,124,063	3,677,232
売上原価	2,349,660	2,614,413
売上総利益	774,402	1,062,819
販売費及び一般管理費	796,560	923,903
営業利益又は営業損失(△)	△22,158	138,916
営業外収益		
受取利息	2,888	2,157
為替差益	5,417	-
補助金収入	2,099	2,458
保険解約返戻金	2,537	-
その他	2,228	2,851
営業外収益合計	15,170	7,467
営業外費用		
支払利息	4,204	2,540
為替差損	-	4,120
株式交付費	3,472	1,967
債務保証損失	2,070	-
その他	846	4,578
営業外費用合計	10,594	13,207
経常利益又は経常損失(△)	△17,582	133,176
特別利益		
新株予約権戻入益	52	-
役員退職慰労引当金戻入額	22,274	-
その他	2,234	-
特別利益合計	24,561	-
特別損失		
固定資産売却損	-	218
固定資産除却損	401	-
損失補填金	3,055	-
訴訟関連損失	-	3,334
事業譲渡収益返戻損失	8,054	-
その他	1,215	-
特別損失合計	12,725	3,553
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,746	129,623
法人税、住民税及び事業税	15,838	24,090
法人税等調整額	2,720	41
法人税等合計	18,559	24,132
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,306	105,491
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,961	17,336
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,268	88,155

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,306	105,491
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△25,803	14,991
その他の包括利益合計	△25,803	14,991
四半期包括利益	△50,110	120,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,175	99,092
非支配株主に係る四半期包括利益	△934	21,389

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年2月29日付で、Oakキャピタル株式会社から第三者割当増資の払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ50,001千円増加しております。また、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間において新株予約権の行使による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ174,712千円増加しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ224,713千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が932,519千円、資本剰余金が732,519千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年12月20日 定時株主総会	普通株式	57,666	1	平成28年9月30日	平成28年12月21日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成29年2月14日及び平成29年6月27日にOakキャピタル株式会社から新株予約権の行使による払い込みを受けたこと等により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ78,969千円増加しております。また、レカムビジネスソリューションズ(大連) 株式有限公司の非支配株主持分をレカム株式会社が取得したこと等により、資本剰余金が40,280千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間末において資本金が1,011,488千円、資本剰余金が955,141千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上 額(注) 2
	情報通信事業	BPO事業	海外法人事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,932,360	152,900	38,801	3,124,063	—	3,124,063
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,058	102,386	—	111,444	△111,444	—
計	2,941,419	255,286	38,801	3,235,507	△111,444	3,124,063
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△34,629	15,725	1,654	△17,250	△4,907	△22,158

(注) 1. セグメント間内部売上振替高△111,444千円、棚卸資産の調整額△4,907千円を記載しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上 額(注) 2
	情報通信事業	BPO事業	海外法人事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,132,374	250,481	294,377	3,677,232	—	3,677,232
セグメント間の内部売 上高又は振替高	20,549	93,202	—	113,752	△113,752	—
計	3,152,923	343,683	294,377	3,790,984	△113,752	3,677,232
セグメント利益	62,787	37,038	38,811	138,637	278	138,916

(注) 1. セグメント間内部売上振替高△113,752千円、棚卸資産の調整額278千円を記載しております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。